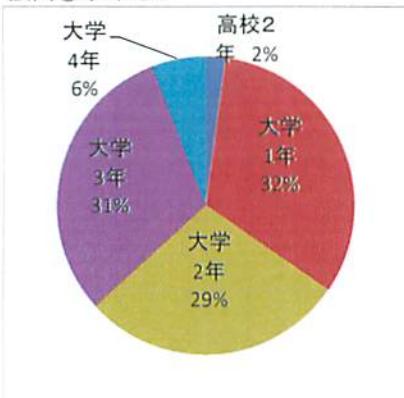
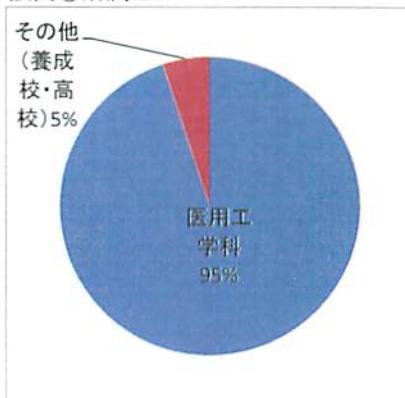


第7回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計

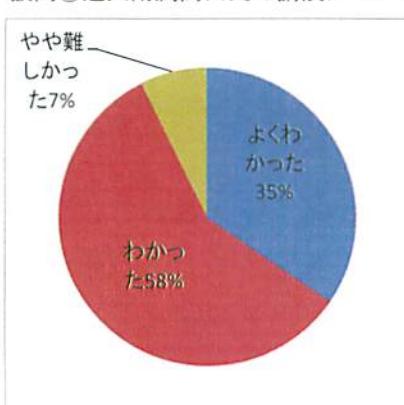
設問①学年は？



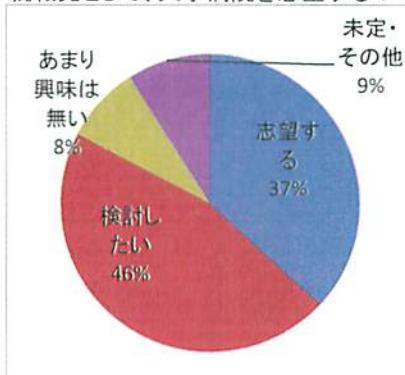
設問②所属は？



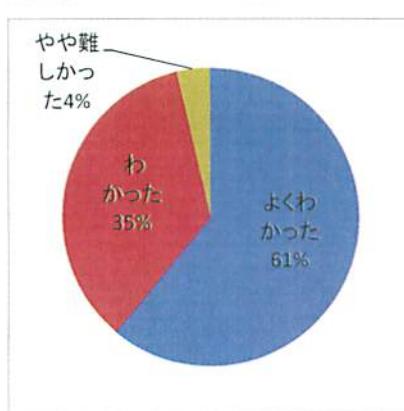
設問③近大附属高田氏の講演について



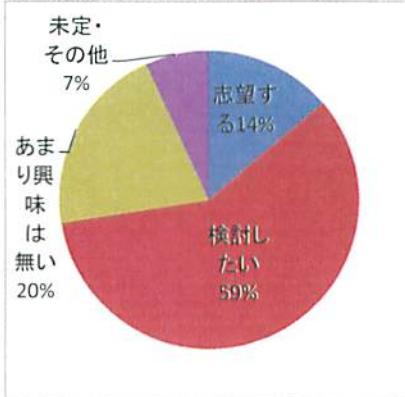
設問④【医用工学科学生のみ回答】就職先として、大学病院を志望する？



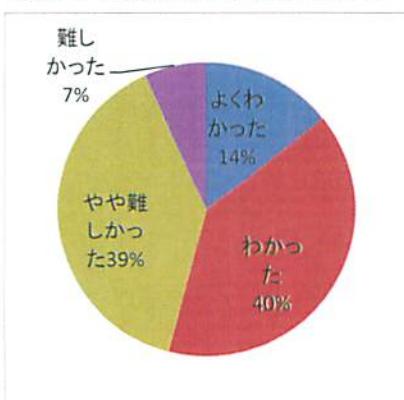
設問⑤ニプロ塩谷氏の講演について



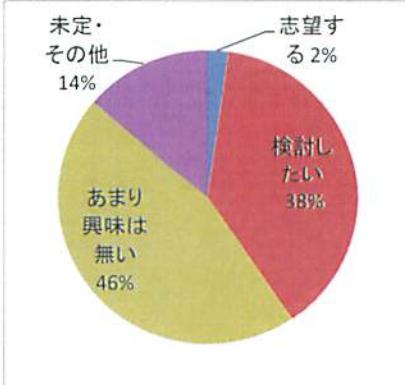
設問⑥【医用工学科学生のみ回答】就職先として、企業を志望する？



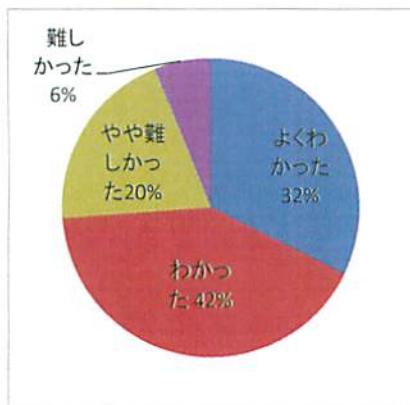
設問⑦PMDA武内氏の講演について



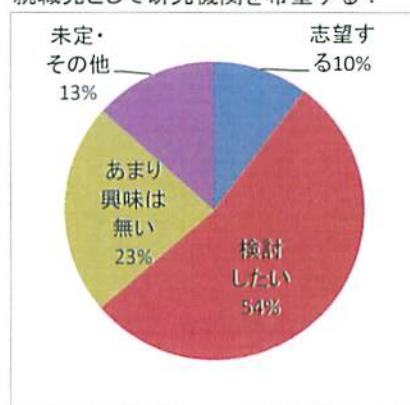
設問⑧【医用工学科学生のみ回答】就職先として行政を志望する？



設問⑨国循 翼先生の基調講演について



設問⑩【医用工学科学生のみ回答】就職先として研究機関を希望する？



第7回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計

学年	設問⑫ 臨床工学技士の業務について、この講演会で初めて知ったことは何ですか？
高校2年生	臨床工学技士の業務は機械などの操作だけでなく、管理することも同じくらい大切な事だということ
大学1年生	<p>医療機器の開発・改良への過程や実際に行われた商品の改良例など具体的なお話や審査チームの体制、国循の役割や研究例など授業内では学べない興味深い事柄を知った</p> <p>承認の方法が詳しく分かった。医療機器が新しく作られたり改良された後、様々な手続きが法律に基づいて行われていると知った。人工心臓の現在や臨床工学技士の現在について分かったので、前より具体的に自分のやりたい事が想像できるようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院卒じゃなくても企業には行ける事 ・医療機器の承認において、臨床工学技士は頼りにされていること ・病院における臨床工学技士の勤務体制 ・PMDAでの審査の方法や手順、チーム内での臨床工学技士の役割 <p>医療機器行政の話で出てきた審査に必要な書類や記載内容は初めて知りました。医療機器がどのようにして認可されているのかは授業でも学習していないので全体的に初めて知ることが多かったです</p> <p>それぞれの機関での臨床工学技士の立場など</p> <p>医療機器の承認を厚生労働大臣がしていること</p> <p>小児や新生児への機器が極めて少なく、世の中に普及していない現実を知った</p> <p>臨床工学技士でも研究・開発が出来るということ</p> <p>臨床から研究機関・企業などに転職する人がたくさんいることを知ることができて良かった。臨床にしかあまり興味がなかったが、企業の良さや研究の良さを知れて良かった</p> <p>臨床工学技士の人でも研究にいけること</p> <p>臨床経験があれば患者の声がきけるので、それを開発に活かせる</p> <p>大切なことは、これから医療をどのように良くしていくかという意欲。また改良をしていくためには、その医療を受ける患者の声が大切</p> <p>企業開発の業務や研究の内容などについて、初めて詳しい内容が分かった</p> <p>医療機器行政の審査専門員に就職するために、修士課程を出している必要があること</p> <p>PMDAの事について、様々な詳しい業務やその他の事について初めて知りました。修士課程必須ということで、つらいですが出来れば目指したいと思いました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格がなくても開発に携われることや、資格をもっていることで現場を知っている前提でみられるこど ・安全管理などが学部卒で学べているのが臨床工学技士である点 <p>病院以外の業務についてはほとんど新しい知識だった</p> <p>企業での臨床工学技士のはたらく場所やどのように開発しているかなどを知りました</p> <p>医療機器の性能を良くするための、企業または工場とのやりとりについて</p> <p>企業での仕事は単独で研究しているものだと思っていたので、いろいろな人が関わり協力することが行われていると初めて知った</p> <p>企業での商品開発で、営業の人たちも携わっている。出張するのに1年で地球2周も全国へ行っている</p> <p>これだけは必要！というもの…勉強する心</p> <p>病院や企業での働きは今まで聞いたことがあったが、PMDA(行政)などの仕事の内容は初めて聞いた。難しい内容かなと思っていたが、身近な例もあり大変わかりやすかった</p> <p>臨床工学技士が幅広く活躍していること</p> <p>臨床工学技士は病院の勤務や審査の仕事しかないと思ったが、サラリーマンという会社勤めも出来るのを初めて知った</p>

第7回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計

学年	設問⑫ 臨床工学技士の業務について、この講演会で初めて知ったことは何ですか？
大学 1年生	同じ企業やPMDAや研究機関で働く人でも、臨床を経験した人と経験していない人では、患者の気持ちがわかるなど違う点があるということ
	この業界は結構転職が多いんだなと感じた
	臨床工学技士は、患者と機器の様子や機器のアルゴリズムをみて、判断して、患者に対して治療の選択肢を増やす、という仕事をするということ
	臨床工学技士としてのあり方、どのようなことをしているのか具体的に知ることが出来たこと。巽先生の話はとても興味深いものであったこと
	業務内容がかなり細かく分かれている点
	PMDAによる審査基準の概略と目線。そこにおける臨床工学技士の役割
	病院で働く臨床工学技士の仕事が自分が思っていたよりもたくさんあっていろいろな分野で働けるのだなあと思いました。
大学 2年生	企業就職の可能性の大きさ、広さが知れました
	医療機器の承認チームの主担当やリーダーとして承認の話し合いに参加できること
	臨床工学技士の職域の広さを改めて詳しく知ることが出来た
	・実際に現場でどのような体制の中で臨床工学技士が働いているのか
	・行政に臨床工学技士が関わっているということ
	院にいかなくても企業に入る点
	巽先生の話はとても新鮮なお話ばかりでした
	薬剤の開発も、医療機器と同じくらい携われることに驚きました
	各機関で行われていることや必要なことなど学べることが多くあり、自分の将来を考えるのに為になつた
	色々な場所で色々な人が働いているんだなと思った
	行政という選択肢があると知りました。いろいろな種類の機器に関われるということだったので、興味を持ちました。院に行かなければいけないことから検討します
	医療機器の開発や企画の詳しい部分
	それぞれの病院によって、所属するところが違うこと
大学 3年生	いろいろな部署で臨床工学技士は活躍していることがわかつた
	PMDAでの業務内容
	行政の方のお話をきいたことがなかったので、行政でMEが何をしているのかなどイメージしやすくなつた
	臨床工学技士の業務に医療機器の審査をいう業務があつたこと
	医療機器審査等への就職という考えがあることを知つた。すごく興味を持った
	ほとんど全てです
	臨床工学技士はいろいろな方面で活躍できることが分かつた

第7回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計

学年	設問⑫ 臨床工学技士の業務について、この講演会で初めて知ったことは何ですか？
大学 3年生	企業での役割、行政での役割を初めて知った
	臨床工学技士はまず現場にいくことが大事であること
	今まででは病院志望だったが、巽先生の話を聞いて研究職に興味がわいた
	臨床工学技士の仕事は一つしかないわけではなく、様々な分野に分かれていって、そして協力し合っていること
	臨床工学技士の資格がゴールではなく、他にも様々な専門資格があり、就職しても日々勉強が必要だと感じた。
	巽先生の講演で、企業や行政に就職するにしても一度臨床経験を積むことが大切だと改めて理解する事ができました
	PMDAや企業の流れがよくわかった
大学 4年生	工学系以外の研究開発に携われること
	開発職の細かい部分やどのようなことをしているか。臨床実習での気をつける点や振る舞い方
	人工臓器の可能性について知ることが出来た
その他	機器管理業務による病院全体の影響と重要度を再確認した
	PMDAの採用条件
	研究という場所での業務の具体的な話を聞けたので、とてもよかったです。PMDAという行政の側面から見た医療にも興味を持てました
	中材管理業務、研究部門など。特に、臨床で経験を積んだ後に研究に進むことはとても理にかなったことだと思いました
	中材業務などもあるのは知らなかった。PMDAのようなところにCEが就職するのは初めて知りました
	病院外での活躍を聞きました。どちらで活躍する道にせよ、「人を救いたい」と思う気持ちが伝わりました
	PMDAでの臨床工学技士資格を持つ職員の数(10名)が想像していたより多かったこと。・PMDAでの審査業務の内容や、臨床現場での研修が実施されている点

第7回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計

学年	設問⑯
	その他、ご意見やご感想、今後聞きたいテーマなど。
大学1年生	<p>臨床工学技士に関する知識はもちろん、お話しして下さった方々の個人的な体験や医療に対する想い、患者さんとの出来事などを聞けてとても貴重な体験だった。</p> <p>私は研究・開発に興味があるので、詳しい部門やそれぞれの役割などについて知りたいと思った。</p> <p>今まででは、大学病院ということしか考えた事がなかったけど、企業や行政や研究についても視野を広げてみたいと思いました。ずっと病院で働くのではなく、病院で経験を積んだ後に企業や行政、研究のほうで現場での意見をだしていくという事も考えることが出来たので良かったです。</p> <p>将来、現場か企業のどちらに就職しようかと迷っていたので、このような講演を行って頂けてありがとうございました。今回の講演を参考にして決めていきたいと思います。</p> <p>臨床工学技士の人数はこの先増えていくのかどうか。増えたとして、メジャーな職になるのかどうか</p> <p>最後に臨床経験は大切という話を聞いたが、さらに詳しい話を聞きたいと思った</p> <p>臨床現場で働いている臨床工学技士の方の講演も是非聞きたいと思いました。今回は本当にありがとうございました。</p> <p>企業・研究機関に関する講演について、是非、海外での経験も含め海外での開発をテーマとしたものを聞きたい</p> <p>いろいろな話を聞けて良かったです</p> <p>まだ1回生であるという事もあり、就職などについてあまり考えていないかったが、本日来て下さった4名の先生方のお話をきき、自分がどのような仕事をしたいのか少しだが分かった気がします</p> <p>研究開発において、既存の商品の改良はよくされるが、新商品の開発は難しいと分かった</p> <p>ニプロの社員総数に対して、臨床工学技士の人数が22人という少ない数であり、また、病院での人数も今はまだ少ないので、将来必要とされていく職業だと感じました</p> <p>主に医療機器の開発や企業への道など、幅広い職域を示していただければ、私も見てみたいと考えています</p> <p>少々わからない点もあったが、将来について考えるためにすごくよい講演会だった。現場・企業の両方で働いたことのある人の経験談や、臨床工学技士として海外で業務経験がある人の話などを詳しく聞いてみたいと思った</p> <p>企業にあまり興味がなかったけれど、今回の講演で興味がわいた。次回も是非ニプロ塩谷さんの話を聞きたい。</p> <p>病院での職務の話などは大変興味深かったです。近畿大学附属病院の話も役立ちますが、他の病院についての講演も聞いてみたいです</p> <p>国立循環器病センターについて興味があったので、巽先生のご講演を聞くことができてよかったです</p> <p>病院で働く時、それぞれの担当がどのような働きをしているのか(手術室でのMEの働きなど)</p> <p>臨床工学技士有資格者で、病院以外の所で勤務している方のお話をもっと詳しく聞いてみたいと思う。臨床工学技士の夢のあるお話や現実・実情を知りたい</p> <p>この講演で聞いた話の中に、自分の知らない単語や言葉が多く出てきたので、まだ知らないことがたくさんあると実感した。卒業するまでにしっかり勉強して、内容が理解できるようになりたい。また、4つの講演を聞いて、将来の進む道が広がったと思った</p> <p>臨床で働いている人の部門ごとのより詳しい業務内容</p> <p>いろいろな方面・視点から臨床工学技士やその他周りの仕事を知れて、とても有意義な時間であった</p> <p>非常に為になるお話を聞く機会があり、とても良かったです。特に、塩谷先生の講演が印象に残つており、将来の選択に活用したいと思います</p>

第7回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計

学年	設問⑯
学年	その他、ご意見やご感想、今後聞きたいテーマなど。
大学1年生	病院内でどんな種類に分かれているかを具体的に知ることができた。PMDAの仕事内容も今までよりもっと理解できた。企業への就職も以前より前向きに考えることができた 将来の事を考える機会になったので良かった AIについて(AIの医療分野での活かし方)
大学2年生	企業の詳しい話が聞けて良かったです。すばらしい講演会でした。 思っていたよりもあっという間に時間が過ぎた。自分の将来が広がったと思う。もっと国循の臨床工学技士の方の話を聞きたいと思った 貴重なお話の数々、本当にありがとうございます 塩谷さんはとても明るく、巽先生はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました 来年もこのような機会があれば参加したい 医師と技士と看護師の関係のあり方 ニプロさんの話がとても楽しかったです。営業開発部に入りたいという思いを持ちました 校内で企業の話を聞ける事が少ないので、開発・研究などについて理解を深めると自分の将来の視野が広がると思います ME免許を持っていなくても仕事があることを知った
大学3年生	病院から企業へ入った人の話を聞いてみたいです 臨床工学技士の臨床現場での役割についてもっと深く聞きたい 塩谷先生の講演は、学校では全く学ぶことのできない話だったので、非常に楽しく興味が持てた。次回も是非聞きたいと思った 4講演とも貴重な講演で非常に勉強になりましたが、職種が臨床・企業・行政・研究の4部門で、この職域は以前の講演で既知でした。そのため、今後、臨床工学技士の役割増加、職域増加などの将来展望を聞きたいです 医療現場での臨床工学技士の話が多かったので、企業の話も聞きたい 母が助産師という事もあり、子供のころから新生児を近くで見てきたことからとても興味があるので、小児や新生児への機器開発が進み、これから世の中に役立ってほしいです。そして、自分も研究に参加したいです 開発・研究に近いところではありますが、治験(新薬&新医療機器)に興味があります。治験は、薬剤師、臨床検査技師がメインでしょうが、臨床工学技士も入っていくと思っています 病院で実際に働いた後、企業や他の場で活躍されているMEの講演や、医師から見たMEの今後取り組んでほしいこと、求められる技術などを聞きたい 巽先生の話の中で出てきた東郷さんのお話を聞いてみたいです。看護師の免許を持って大学院(修士・博士)にいったり研究したりなど、女性の立場でのお話を聞きたいです 企業で開発に携わる際、院を出ていることが前提であると思っていたので、塩谷先生の話を聞いて少し以外というか、驚きました 講演して下さった方は院卒であり、最終学歴が学部卒の人の講演を聞きたい 今日の講演を聞き、臨床に出たときの臨床工学技士の役割のイメージを持つことが出来ました。臨床工学技士になったら、患者さんとの関わりを大切にしたいと思いました ニプロ以外のメーカーの開発職の役割について。今後、発展しやすい医療機器について
大学4年生	基礎研究を行う機関や大学、製品を作る企業、審査するPMDA、操作・管理を行う技士など一連のサイクルを聞くことが出来て良かった 臨床工学技士の業務が及ぼす病院全体や患者への影響について 世界における日本の医療機器のシェア率。また、世界の企業と競争する上で日本の強み
その他	今後の機器開発に関する企業と研究について聞きたいと思います

第7回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計

学年	設問⑬
	その他、ご意見やご感想、今後聞きたいたいテーマなど。
その他	実際に経験したことを聞き、今後どのような臨床工学技士になるか少し見えたような気がしました。 今後は、臨床で必要になる技術などを聞きたいです。
	巽英介先生の貴重な臨床経験や、その経験を生かした研究活動に感銘いたしました
	是非来年も参加させて頂けるとうれしく思います
	病院以外のCEとしての業務は全く知らなかつたので、大変貴重な話を聞けました